

※コピーしてお使いください

●：最高血圧 ○：最低血圧

年	月	お名前	年齢	才	性別	男・女																											
日	付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
測定時刻																																	
血圧値 (mmHg) 記入例																																	
脈拍数 (拍/分)																																	
メモ																																	

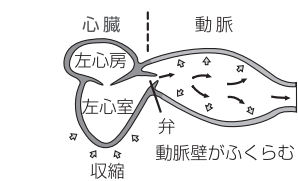
血圧とは…

心臓は体の隅々まで血液を循環させるためのポンプで、血液は心臓が収縮して動脈内に拍出されています。成人の心臓は握りこぶしくらいの大きさで、1日に10万回以上も拍動しています。

血圧とは、心臓から送り出される血液の流れによって、動脈の壁にかかる圧力のことです。送り出される血液の量と動脈の太さと柔軟性などによって血圧は決まります。一般に血管は加齢とともにしなやかさを失うと言われ、血圧も加齢とともに上昇していく傾向があります。

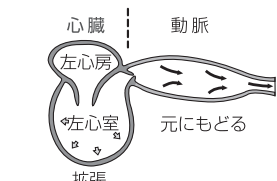
血圧を測定する場合、通常、最高血圧と最低血圧が記録されます。心臓が収縮して血液が心臓から送り出されるときに最も高い血圧を収縮期血圧（最高血圧）といい、心臓が拡張して血管にかかる圧力が最低のときの血圧を拡張期血圧（最低血圧）といいます。

【最高血圧とは】



左心室が収縮して血液が送り出されたときの血圧が「最高血圧」です。

【最低血圧とは】



左心室が拡張したときの血圧が「最低血圧」です。

高血圧による病気

高血圧は、自覚症状をともなわず進行し、気付かないうちに動脈硬化を進行させ、心筋こうそくや脳卒中などの生命に関わる疾病を引き起こす要因と言われています。

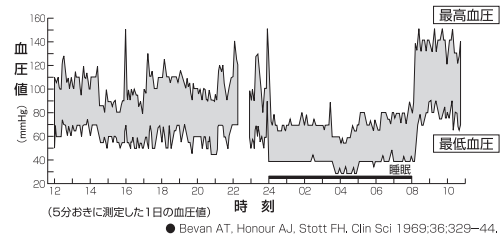
脳	脳卒中（脳出血、脳こうそく、くも膜下出血）
心血管	心臓病（うっ血性心不全、心肥大、心筋こうそく、狭心症）
腎臓	腎不全
その他	糖尿病など

血圧の変動

血圧は、自律神経の働きによって調整され、心臓の動きに合わせて一拍ごとに変化しています。健康な方でも1日の間に大きく変動するといわれています。そのため、朝と夜、季節や気温などによって血圧値はちがってきます。

下の図は、日常生活における1日の血圧の変動の一例です。

【血圧の日内変動の一例】



日本人の血圧の平均値

日本人の血圧の平均値を示します。個人差もあるため、あくまで目安として、ご自分の血圧を判断するときの参考にしてください。

出典：厚生労働省「平成29年国民健康・栄養調査報告」による

	年 代	平均値 (mmHg)	
		最高血圧	最低血圧
男 性	20～29 歳	116.6	74.5
	30～39 歳	119.4	79.0
	40～49 歳	127.8	83.6
	50～59 歳	132.4	86.1
	60～69 歳	137.8	85.6
	70 歳以上	139.5	81.2
女 性	40～49 歳	123.6	78.3
	50～59 歳	132.5	80.0
	60～69 歳	136.3	79.0
	70 歳以上	128.1	78.3
	40～49 歳	118.1	75.8
	30～39 歳	110.5	71.3

注) 血圧を下げる薬服用者除外 2回測定値の平均値

2019年5月 第1版

医療機器認証番号：231ADBZX00029000

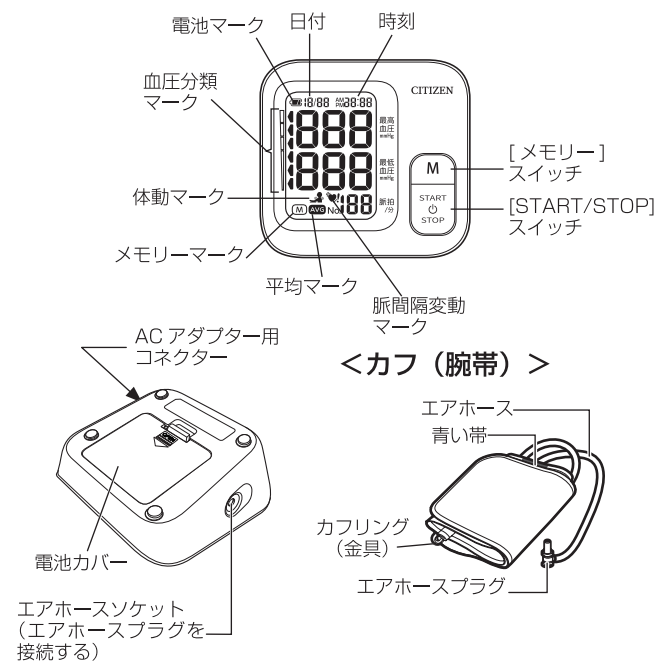
機械器具 18 血圧検査又は脈波検査用器具 管理医療機器 自動電子血圧計（JMDN コード：16173000） シチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズ （CHUG330、CHUG360）

【禁忌・禁止】

- （血圧計を適正にご使用頂くための注意事項です。）
- この血圧計には同梱のカフを必ず使用し、他の医療機器や器具と接続または併用しないでください。[けがや事故をおこすおそれがあります。]
 - ご自身で測られる場合は：
医師の指導にもとづいて測定し診断を受けましょう。薬剤の服用も医師の指示に従ってください。測定結果の自己判断、治療はしないでください。
 - 傷などの未治癒の腕にカフを巻かないでください。[未治癒部分を悪化させるおそれがあります。]
 - 治療中で点滴静脈注射や輸血をおこなっている腕にカフを巻かないでください。[けがや事故をおこすおそれがあります。]
 - 腕部に重度の血行障害がある場合は、医師と相談の上使用してください。[体調不良をおこすおそれがあります。]
 - 測定部位の血流が少ない方、血管脈の弱い方、不整脈の頻度の高い方は測定できないことがあります。その判断は医師によります。使用前に必ず医師に相談してください。
 - 病院内の麻酔ガスなど可燃性ガスの近くで使用しないでください。[引火の可能性があります。]
 - 病院内の高圧酸素室や酸素 TENT 内など高濃度酸素下では使用しないでください。[発火の可能性があります。]
 - 本製品は在宅の自己血圧測定に使用するものですので、不特定多数の被験者が対象となる医療機関・公共の場所で使用しないでください。
 - ペースメーカーをご使用の方や乳腺切除した方は、かかりつけの医師の指示を受けてください。

【形状・構造及び原理等】

1. 各部のなまえ



取扱説明書を必ずご参照ください

付属品	取扱説明書 / 保証書	1 枚
	医療機器添付文書 / EMC 技術資料	1 枚
	単 4 形アルカリ乾電池	4 本
	カフ	1 個
	AC アダプター（CHUG360 のみ）	1 個

※指定以外のものは使用しないでください。

2. 体に接触する部分の原材料

・カフ：ナイロン

3. 本体の寸法および重量

寸法：約 110（幅）× 47（高さ）× 104（奥行）mm
質量：約 210 g（電池含まず）

4. 電氣的定格

・定格電圧：DC6V（単 4 形乾電池 4 本または単 4 形ニッケル水素充電電池 4 本）

・消費電力：3W

5. 原理

本製品は上腕部を測定部位とする非観血式血圧計です。上腕部にカフを巻き、[START/STOP] スイッチを押すと自動的に加圧し血圧測定に最適な圧力まで達すると自動的に加圧が止まり、自動的に徐々に減圧されるときに生じる圧力振動波形を検出し、オシロメトリック法により演算処理し、最高血圧値、最低血圧値および脈拍数を液晶表示します。

【使用目的又は効果】

健康管理のために収縮期血圧（最高血圧）および拡張期血圧（最低血圧）を非観血的に測定します。

【使用方法等】

<測定前準備>

- (1) 電池を入れます
 - ・本体を裏返して電池カバーを開け、電池の（+）（-）に注意して電池を入れた後、電池カバーを閉めます。
- (2) 時計を合わせます
 - ・取扱説明書の手順に従って、「年月日」および「時分」を合わせてください。

<測定方法>

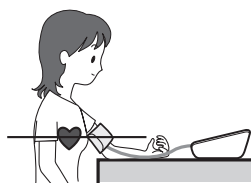
- (1) エアホースプラグを本体のエアホースソケットに差し込みます
- (2) カフを左手の上腕部に巻きます
 - ① エアホースが、手のひら側にくるようにして腕に通します。
 - ② カフの青い帯が腕の中心にくるようにして、カフの縁をひじの関節から 1～2cm 上の位置に合わせます。
 - ③ カフの端を引いて、ぴったりと腕に巻きつけ、面ファスナーで固定します。

※ 巻き方が適切でないと、正しく測定できない場合がありますので、巻きつけがゆるすぎたり締め付けすぎたりしないようにしてください。

※ 腕周囲が 22cm 未満、32cm を超えた方が測定した場合、正しく血圧を測定できない場合があります。

(3) 正しい姿勢をとります

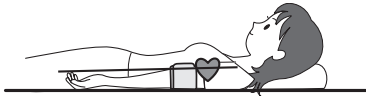
■座って測る



- ① ひじから先をテーブルなどに置き、まっすぐ伸ばします。
- ② カフと心臓の高さを合わせます。
- ③ 手のひらを上にして力を抜きます。
- ④ 測定中は身体を動かしたり、話をしたりしないでください。

※測定中カフの位置が心臓より高かったり、低かったりすると、正しく測定ができない場合があります。

■寝て測る



※カフを圧迫しないように力を抜いてください。

- ① あお向けになり、まっすぐ寝ます。
 - ② 手のひらを上にして腕をまっすぐ伸ばします。
 - ③ 身体、腕、指の力を抜いてリラックスします。
 - ④ 測定中は身体を動かしたり、話をしないでください。
- (4) [START/STOP] スイッチを押し測定を開始します
- ・自動的に加圧し（再加圧する場合があります）、測定が終了すると自動的にカフの空気が抜けます。
 - ・[START/STOP] スイッチを押し続け、停止したい圧力でスイッチを離すとその圧力で加圧を停止させることもできます。
- (5) 最高血圧、最低血圧、脈拍数が表示されます
- ・世界保健機関（WHO）、国際高血圧学会（ISH）の血圧分類に照らして、測定値がどの分類に属するかを表示します。
- (6) 測定結果を記録します
- ・測定結果は自動的に記録され、エラーを除き最大 60 回分記録されます。

<メモリーの呼び出しかた>

- ・[メモリー] スイッチを押すと過去の測定結果を見ることができます。

※操作方法の詳細については取扱説明書をよくお読みください。

※Err等の表示が出た場合は、取扱説明書に従って操作をおこなってください。

<測定時の注意点>

- (1) 測定前に 5 ～ 6 回深呼吸をし、リラックスして測定してください。[緊張時や、精神状態が不安定なときは、血圧が安定しません。]
- (2) 睡眠不足や便秘のとき、または運動や食事の後でも血圧は高くなります。
- (3) 飲酒の後や入浴直後には測定をおこなわないでください。
- (4) 尿意や便意があるときは、排尿や排便をすませてから測定してください。
- (5) 20℃前後の室温で測定してください。寒さは血圧を上昇させます。
- (6) コーヒーや紅茶などを飲んだり喫煙した直後は、正しい値が得られません。
- (7) 連続して測定をおこなわないでください。上腕がうっ血して正しい値が得られません。必ず間隔（1 分以上）をあけてから測定してください。
- (8) 楽な姿勢で安静にして測定してください。カフを心臓の高さに保ち、腕を動かしたり、話をしないでください。
- (9) 血圧は長期のデータを見るのが大切です。お薬（血圧を下げる薬等）を服用した時間も考慮して、一日のうちで最も安定した状態が保てる時間帯を選んで、毎日できるだけ同じ時刻に測定しましょう。
- (10) 測定中に体に異常を感じたり、気分が悪くなったりした場合には、使用を中断して医師の指導を受けてください。

【使用上の注意】

- (1) 血圧測定の目的以外には、使用しないでください。分解や修理、改造をおこなわないでください。[発火したり、故障や事故をおこすおそれがあります。]
 - (2) 携帯電話など電磁波を発生する機器に近づけないでください。[誤動作する可能性があります。]
 - (3) お子様や意思表示のできない人に使用しないでください。
 - (4) 医師の指導を受けてご自身で測る場合があります。医師の指示に従い正しく測定しましょう。
 - (5) 血圧を連続して測定しますと、うっ血、はれなどの原因となる場合があります。必ず間隔（1 分以上）をあけてから測定してください。
 - (6) 表示部にまたはマークが出たり [START/STOP] スイッチを押しても何も表示しないときは、4 本同時に新しい乾電池と交換してください。充電電池をご使用の場合は充電してください。
 - (7) エアホースを折り曲げた状態で使用しないでください。
 - (8) 強い圧迫感などの異常を感じた時は [START/STOP] スイッチを押す、またはエアホースプラグを外す、またはカフを外してください。
 - (9) 専用の AC アダプター以外は、使用しないでください。[感電や火災、故障の原因になります。]
 - (10) AC アダプターはぬれた手で、コンセントから抜き差ししないでください。ご使用にならない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。[感電や火災、故障の原因になります。]
 - (11) 故障を発見した場合はただちに使用を中止し、分解せず、販売店または弊社お客様相談室（0120-88-6295）に連絡してください。
- ※ 添付文書および取扱説明書に従わない使用がなされた場合および勝手に何らかの修理、改造、分解、再調整がなされた場合について、製造販売業者は一切の責任を負うことができませんのでご注意ください。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

- ① 高温や直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、ほこりの多い場所、腐食性ガスの発生する場所に保管しないでください。
- ② 長期間使用しない場合は電池を外してください。電池からの液漏れにより故障の原因になります。

2. 耐用期間

標準的な耐用期間：5 年もしくは最大 30,000 回のいずれか早く達した方。[自己認証（当社データ）による。]

- ※ カフ、電池などの消耗品は除く。
- ※ 標準的な耐用期間を超えて使用しないでください。

【保守・点検に係る事項】

- (1) しばらく使用しなかったときは、使用前に作動すること（電源が入る、加圧するなど）を確認した後、ご使用ください。
- (2) 汚れがひどいときは、中性洗剤をしみこませた布で拭き取り、乾いた布で拭いてください。水をかけたり、アルコール、シンナー、ベンジンなどで拭かないでください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 ： **シチズン・システムズ株式会社**

製 造 元 ： 西鉄城精電科技（江門）有限公司

CITIZEN SYSTEMS (JIANGMEN) CO., LTD.

中華人民共和国

お問い合わせ先

シチズン・システムズ株式会社 お客様相談室

〒188-8511 東京都西東京市田無町 6-1-12

電話：0120-88-6295

EMC 技術資料

シチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズは、医用電気機器の安全使用のために要求されている EMC（電磁両立性）規格、IEC 60601-1-2：2014 に適合している装置です。EMC 規格は、医用電気機器を安全に使用するため、機器から発生するノイズが他の機器に影響を及ぼしたり、他の機器（携帯電話等）が発する電磁波から受ける影響を、一定のレベル以下に抑えるよう規定した規格です。IEC 60601-1-2:2014（5.2.2 項）において、機器が安全に機能するための EMC 環境に関する詳細な情報を使用者に提供することが求められているため、技術的な説明を以下に記載します。（詳細は、IEC 60601-1-2：2014 をご参照ください。）

本製品をお使いいただく際には、付属の添付文書および取扱説明書をよく読んでお使いください。

EMC（電磁両立性）とは

EMC（電磁両立性）とは、次の二つの事項を満たす能力のことです。
・周囲の他の電子機器に、許容できない障害を与えるようなノイズを出さない。（エミッション）
・周囲の他の電子機器から出されるノイズ等、使用される場所の電磁環境に耐え、機器の機能を正常に発揮できる。（イミュニティ）

EMC（電磁両立性）にかかわる技術的な説明

医用電気機器は、EMC に関して特別な注意を必要とし、次に記載する EMC の情報に従って使用する必要があります。

警 告 ・本機器は電磁両立性（EMC）に関して、特別な注意が必要であり、EMC 技術資料に記載された EMC 情報にもとづいて使用しなければなりません。
・携帯および移動無線周波（RF）通信機器により本機器は影響を受けることがあるので、30cm 以上離して使用することが望ましい。
・本機器は、他の機器に密着させたり、重ねた状態で使用しないこと。
・アクセサリ／オプション品は、弊社の指定品を使用すること。指定品以外のアクセサリ／オプション品を使用すると電磁放射波（エミッション）が増加したり妨害に対するイミュニティが低下したりすることがある。

表 1 ― ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁エミッション ―

ガイダンスおよび製造業者による宣言 ― 電磁エミッション			
シチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズは次に指定した電磁環境内での使用を意図している。シチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズの顧客又は使用者は、このような環境内で使用されることを確認すること。			
エミッション試験	適合性	電磁環境 - ガイダンス	
RF エミッション CISPR11	グループ 1	シチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズは、内部機能のためだけに RF エネルギーを使用している。従って、その RF エミッションは非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。	
RF エミッション CISPR11	クラス B	シチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズは、家庭用施設および家庭目的に使用される建物に電力を供給する公共の低電圧用の配電網に直接接続された施設を含むすべての施設での使用に適する。	
電圧変動／フリッカエミッション IEC 61000-3-2	クラス A		
電圧変動／フリッカエミッション IEC 61000-3-3	適合		

表 2 ― ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ

―ガイダンスおよび製造業者による宣言 ― 電磁イミュニティ			
シチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズは次に指定した電磁環境内での使用を意図している。シチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズの顧客又は使用者は、このような環境内で使用されることを確認すること。			
イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイダンス
静電気放電（ESD）IEC 61000-4-2	± 8 kV 接触 ± 15 kV 気中	± 8 kV 接触 ± 15 kV 気中	床は木材、コンクリート又はセラミックタイルであること。床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は最低 30% であること。
電氣的ファーストラジエント／パルス IEC 61000-4-4	± 2 kV 電源ライン ± 1 kV 入出力ライン	± 2 kV 電源ライン ± 1 kV 入出力ライン	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。
サージ IEC 61000-4-5	± 1kV ライン－ライン間 ± 2kV ライン－接地間	± 1kV ライン－ライン間 ± 2kV ライン－接地間	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。
電源ラインでの電圧ディップ、短時間電圧および電圧変動 IEC 61000-4-11	0%UT（0.5 サイクル） 0%UT（1 サイクル） 70%UT（25/30 サイクル） 0%UT（250/300 サイクル）	0%UT（0.5 サイクル） 0%UT（1 サイクル） 70%UT（25/30 サイクル） 0%UT（250/300 サイクル）	シチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズの使用者が、電源の停電中にも連続した稼働を要求する場合にはシチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズを無停電電源又は電池から電力供給することを推奨する。
電源周波数（50 / 60 Hz）磁界 IEC 61000-4-8	30 A/m	30 A/m	電力周波数磁界は、典型的な商用又は病院環境内の典型的な場所でのレベルにあること。

備考 UT は、検査レベルを加える前の交流電源電圧である。

表 3 ― ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ

ガイダンスおよび製造業者による宣言 ― 電磁イミュニティ			
シチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズは次に指定した電磁環境内での使用を意図している。シチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズの顧客又は使用者は、このような環境内で使用されることを確認すること。			
イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境 - ガイダンス
			携帯形および移動形 RF 通信機器は、シチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズのいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算された推奨分離距離より近づけて使用しないこと。 推奨分離距離
伝導 RF IEC61000-4-6	3 Vrms (150 kHz ～ 80 MHz) 6 Vrms (150 kHz ～ 80 MHz 間の ISM 及びアマチュア無線帯域)	3 Vrms 6 Vrms	$d=1.2\sqrt{P} \cdot 3 \text{ Vrms}$ $d=2\sqrt{P} \cdot 6 \text{ Vrms}$
放射 RF IEC61000-4-3	10 V/m (80 MHz ～ 2.7 GHz)	10 V/m	$d=1.2\sqrt{P} \cdot 80 \text{ MHz} \sim 800 \text{ MHz}$ $d=2.3\sqrt{P} \cdot 800 \text{ MHz} \sim 2.7 \text{ GHz}$ ここで P は、送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の最大出力電力定格であり、d はメートル (m) で表した推奨分離距離である。 電磁界の現地調査 a によって決定する固定 RF 送信機からの電界強度は、各周波数範囲 b における適合レベルよりも低いこと。 次の記号が表示されている機器の近傍では、干渉が生じることがある。 
備考 1	80 MHz および 800 MHz においては、高い周波数範囲を適用する。		
備考 2	これらの指針はすべての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収および反射は電磁波の伝搬に影響する。		
a 例えば無線（携帯／コードレス）電話および陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM・FM ラジオ放送および TV 放送のような固定送信機からの電界強度を、正確に論理的に予測することはできない。固定 RF 送信機による電磁環境を見積もるためには、電磁界の現地調査を考慮すること。シチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズが使用される場所の正確な電磁界強度が、適用される RF 適合性が上記のレベルを超過する場合、正常通常動作を検証するためにシチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズを監視すること。異常な動作が発見される場合、追加の手段、例えば、シチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズの向き又は場所を変えることが必要となることがある。			
b 周波数範囲 150 kHz ～ 80 MHz で、電磁界強度は 3 V/m 未満であることが望ましい。			

表 4 ― 携帯形および移動形 RF 通信機器と機器又はシチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズとの間の推奨分離距離

携帯形および移動形 RF 通信機器とシチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズとの間の推奨分離距離				
シチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズは放射 RF 妨害が管理されている電磁環境内での使用を意図している。シチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズの顧客又は使用者は、通信機器の最大出力にもとづく次に推奨している携帯形および移動形 RF 通信機器（送信機）とシチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズとの間の最小距離を、下記に推奨される通信機器の最大出力に従い維持することで、電磁干渉を避けるようにできる。				
送信機の最大定格出力電力 W	送信機の周波数による分離距離 m			
150 kHz ～ 80 MHz 3 Vrms $d=1.2\sqrt{P}$	150 kHz ～ 80 MHz 6 Vrms $d=2\sqrt{P}$	80 MHz ～ 800 MHz $d=1.2\sqrt{P}$	800 MHz ～ 2.7 GHz $d=2.3\sqrt{P}$	
0.01	0.12	0.2	0.12	0.23
0.1	0.38	0.63	0.38	0.73
1	1.2	2	1.2	2.3
10	3.8	6.3	3.8	7.3
100	12	20	12	23
上記以外の最大定格出力電力の送信機に関しては、メートル（m）で表した推奨分離距離 d は、送信機の周波数に対応する方程式を用いて決定できる。ここで P は、送信機製造業者によるワット（W）で表した送信機の最大定格出力電力である。				
備考 1	80 MHz および 800 MHz においては、高い周波数範囲を適用する。			
備考 2	これらの指針はすべての状況に対して適用するものではない。建築物・物・人からの吸収および反射は電磁波の伝搬に影響する。			

表 5 ― ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ

― ガイダンスおよび製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ						
シチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズは次に指定した電磁環境内での使用を意図している。シチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズの顧客又は使用者は、このような環境内で使用されることを確認すること。						
無線通信機からの近傍電磁界 IEC61000-4-3	試験周波数 (MHz)	周波数帯域 ^{a)} (MHz)	サービス ^{a)}	変調 ^{a)}	最大電力 (W)	試験レベル (V/m)
	385	380-390	TETRA 400	パルス変調 ^{a)} 18Hz	1.8	0.3
	450	430-470	GMRS 460 FRS 460	FM ^{a)} ± 5 kHz 偏差 1 kHz 正弦波	2	0.3
	710, 745, 780	704-787	LTE Band 13, 17	パルス変調 ^{a)} 217 Hz	0.2	0.3
	810, 870, 930	800-960	GSM 800/900 TETRA 800 iDEN 820 CDMA 850 LTE Band 5	パルス変調 ^{a)} 18 Hz	2	0.3
	1720, 1845, 1970	1700-1990	GSM 1800 CDMA 1900 GSM 1900 DECT LTE Band 1, 3, 4, 25 UMTS	パルス変調 ^{a)} 217 Hz	2	0.3
	2450	2400-2570	Bluetooth WLAN 802.11b/g/n RFID 2450 LTE Band 7	パルス変調 ^{a)} 217 Hz	2	0.3
	5240, 5500, 5785	5100-5800	WLAN 802.11a/n	パルス変調 ^{a)} 217 Hz	0.2	0.3
	備考：イミュニティ試験レベルを達成するために必要な場合には、送信アンテナとシチズン上腕式血圧計 CHUG シリーズとの間の距離を 1 m にしてもよい。1 m の試験距離は IEC61000-4-3 で許容されている。					
	a) サービスによってはアップリンク周波数だけが含まれる。 b) 搬送波は、50% デューティサイクル矩形波信号を用いて変調しなければならない。 c) FM 変調の代わりとして、18 Hz での 50% パルス変調を用いてもよい。 これは実際の変調を表すわけではないが、最悪状態と考えられるためである。					